

提案書提出状況（H24.6.22 締切）

カゴリ-		特定課題事業名	提案書提出数
広 報	1	催事情報システム <市長公室広報課>	4件
広 報	2	広告掲載による財源確保、ネーミングライツの活用促進 <行財政改革推進本部民間力活用チーム>	5件
広 報	3	区ガイドマップ等作成事業（10区役所） <各区役所区民生活部コミュニティ課>	1件
環 境	4	E-KIZUNA Project EV充電セーフティネットのための、急速充電サービス提供事業 <環境局環境共生部環境未来都市推進課>	
環 境	5	さいちゃんの環境通信作成業務 <環境局資源循環推進部廃棄物対策課>	2件
福 祉	6	介護の日フェスタ <保健福祉局福祉部介護保険課>	
福 祉	7	シルバー元気応援ショップ事業 <保健福祉局福祉部高齢福祉課>	
子育て	8	ファミリー・サポート・センター運営事業、子育て緊急サポート事業 <子ども未来局子ども育成部子育て支援課>	1件
経 済	9	アグリ・カルチャー・ビジネススクール運営事業 <経済局経済部農業政策課>	
教 育	10	校庭芝生化事業【維持管理】 <教育委員会事務局管理部学校施設課>	2件
合 計			15件

【報告資料】
平成 24 年 7 月 25 日
行財政改革有識者会議

平成24年度 さいたま市 提案型公共サービス公民連携制度

これまで行政が担ってきた公共サービスについて
皆様からの知恵とアイデアによる
委託・民営化等の提案を募集！



さいたま市
行財政改革推進本部



1 制度の内容

市が実施している事業について、企業・各種団体など民間の皆様からの知恵とアイデアをいただき、委託・民営化等による公民連携の提案を募集する制度です。

2 さいたま市が求める提案

民間の皆様のアイデアや工夫が盛り込まれ、市が実施するよりもコストやサービスの質の面で優れている提案を求めています。現行の事業をそのまま引き受ける委託先の募集ではありません。

3 提案することができる事業

提案の対象となる事業は、市が実施する事務事業のうち、本制度を積極的に活用して、更なる改善を求めている10事業とします。

催事情報システム

広告掲載による財源確保、ネーミングライツの活用促進

区ガイドマップ等作成事業

E-KIZUNA Project EV 充電セーフティネットのための急速充電サービス提供事業

さいちゃんの環境通信作成業務

介護の日フェスタ

シルバー元気応援ショップ事業

ファミリー・サポート・センター運営事業、子育て緊急サポート事業

アグリ・カルチャー・ビジネススクール運営事業

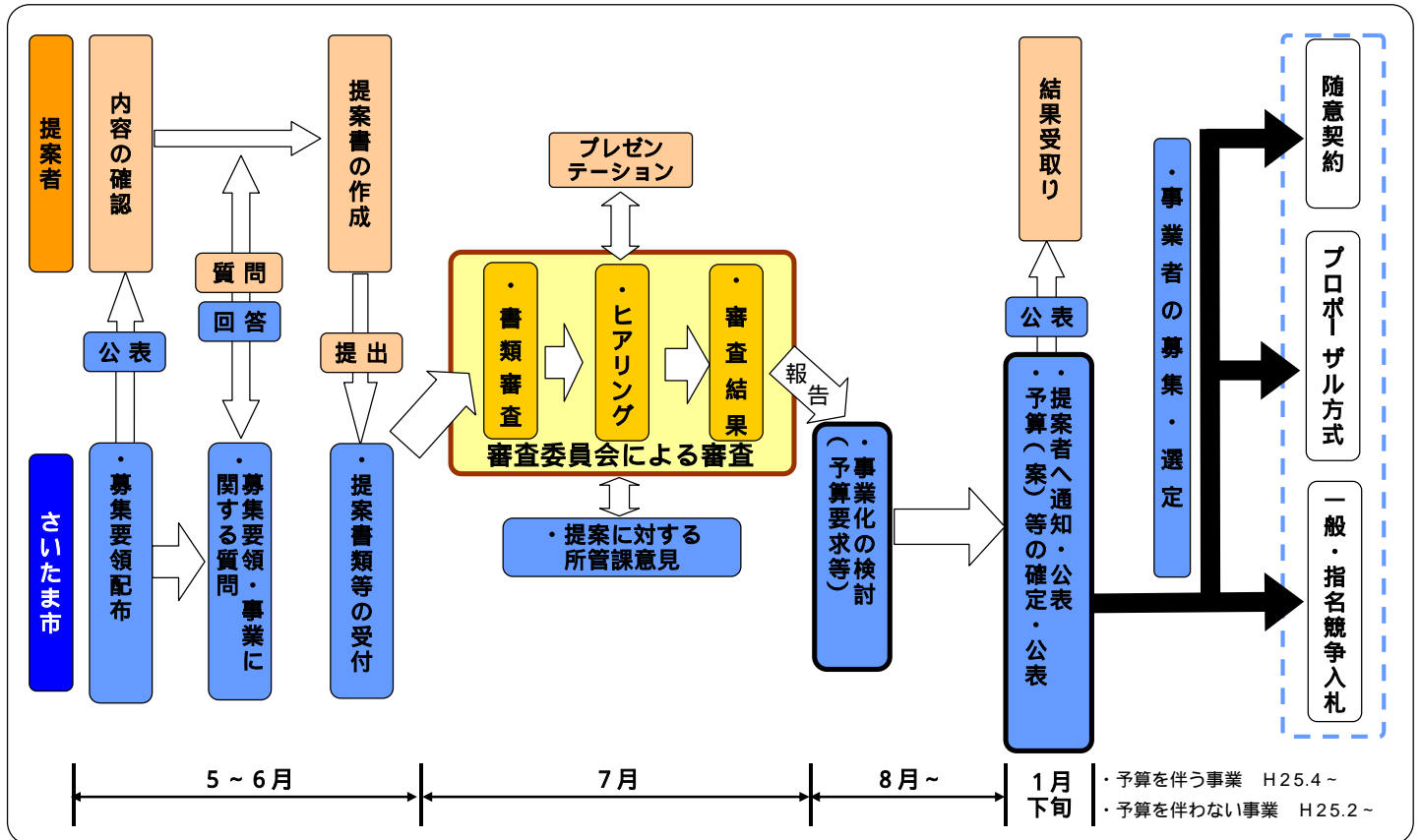
校庭芝生化事業【維持管理】

4 提案することができる方

提案した事業を実施できる企業・各種団体等の任意団体及び個人とします。

5 提案から事業化までの流れ

- ・提出された提案は、学識経験者等で構成する審査委員会で審査し、その結果を踏まえ、市において事業化の検討・決定を行います。
- ・事業化が決定した提案は、改めて事業者を募集し、随意契約、プロポーザル方式、競争入札のいずれかの方法で選定後、実施します。



6 制度の周知活動

- (1) 制度説明会 (市主催 3回、その他 3回 計 6回) 95 団体 114 名参加
 - (2) その他周知活動
 - ・各区情報公開コーナー、市ホームページ、市報を活用した周知
 - ・記者への情報提供 (読売・毎日・朝日・埼玉新聞等に掲載)
 - ・企業訪問による周知 (埼玉りそな銀行、さいたま商工会議所等) 5 団体
 - ・募集要領等の郵送による周知 6 6 団体
- 事業に関する問い合わせ
1 3 件 (うち所管課ヒアリング 4 件・現地確認 3 件)